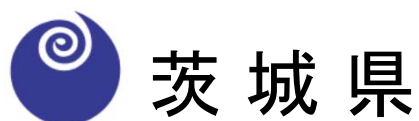


# 県行計画の進捗状況の概要

— いきいき いばらき生活大県プラン —

## 【生活大県プロジェクト】

## 【数値目標】



# 現行計画の進捗状況について

## 1 県総合計画の進行管理

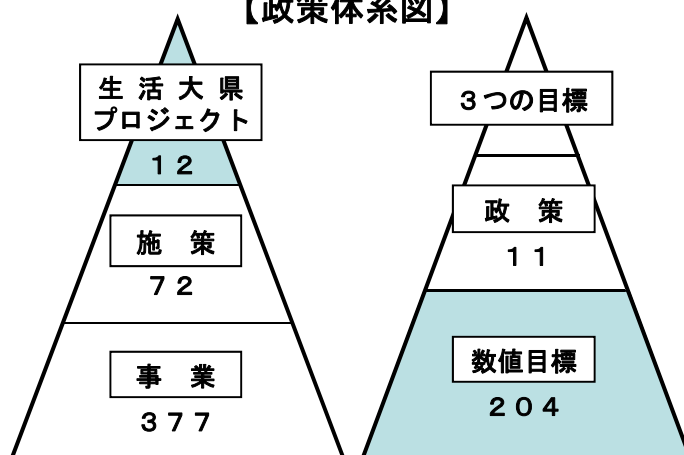
県総合計画「いきいき いばらき生活大県プラン」に掲げた「生活大県」を実現するため、「生活大県プロジェクト」や「数値目標」の進捗状況を、毎年度分析・評価し、PDCAマネジメントサイクルを活用して計画全体の適切な進行管理を図る。

各年度における県総合計画の進捗状況の評価結果については、総合計画審議会に報告し、ご意見をいただいた上で県民に公表するとともに、施策や事業の見直しや次年度の新たな事業等の企画立案に活用させる。

【県総合計画のPDCA】



【政策体系図】



## 2 評価の対象と手順

### (1) 生活大県プロジェクトの評価

県総合計画に位置付けた12の生活大県プロジェクトを「生活大県プロジェクトワーキングチーム」において評価し、進捗状況を「順調」、「概ね順調」、「やや遅れ」、「遅れ」の4段階の区分で評価する。

※参考資料1「平成25年度評価結果について(生活大県プロジェクト)」参照

### (2) 数値目標の進捗状況の評価

県総合計画の3つの目標(住みよいいばらき、人が輝くいばらき、活力あるいばらき)に設定した204項目の数値目標について、年度ごとの目標値である「期待値」に対する進捗状況を「A」、「B+」、「B」、「C」の4段階の区分で評価する。

なお、評価においては、「A」及び「B+」評価が概ね期待した成果が得られたと判断するものとし、併せて昨年度(平成24年度評価結果)との経年比較を実施する。

※参考資料2「平成25年度評価結果について(数値目標)」参照

## 生活大県プロジェクト評価

### プロジェクト評価(12PJ)

【評価主体】生活大県プロジェクト  
ワーキングチーム

○事業評価及び施策評価の結果，県  
政世論調査結果などを総合的に勘  
案し，プロジェクトごとに進捗状  
況を評価。



### 施策評価(72施策)

【評価主体】生活大県プロジェクト  
ワーキングチーム



### 事業評価(377事業)

【評価主体】各事業担当課

### 【プロジェクト評価の区分】

施策評価の結果 A(4点)～D(1点)  
を点数換算し，平均値をとり判定。

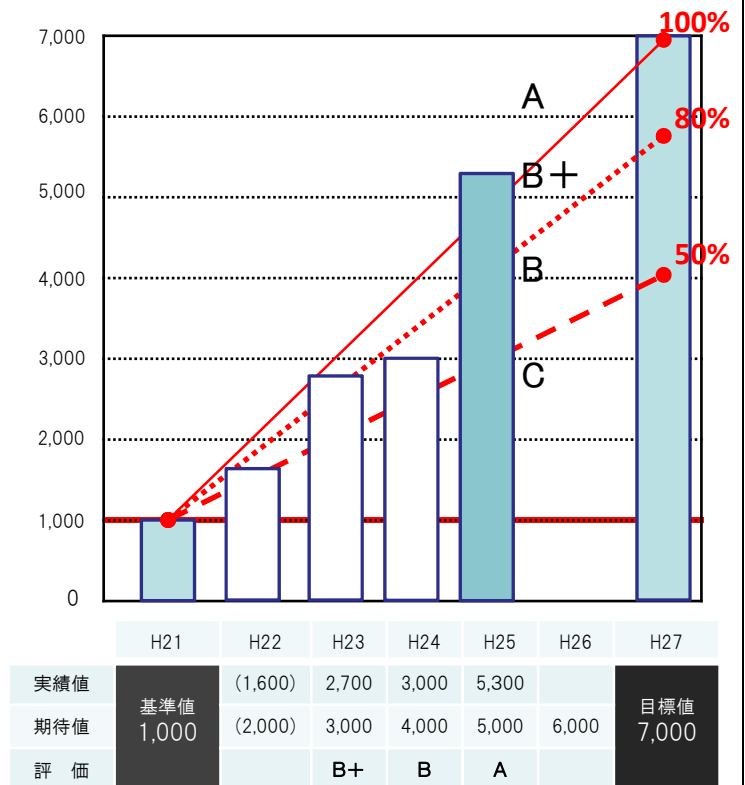
区 分	施策評価の平均値
順 調	4.00～3.5
概ね順調	3.49～3.0
やや遅れ	2.99～2.5
遅 れ	2.5未満

## 数値目標の進捗状況の評価

### 【数値目標の評価区分】

区 分	評価基準
「A」 評価	「実績値」が「期待値」 以上のもの
「B+」 評価	「実績値」が「期待値」の 80～99%のもの
「B」 評価	「実績値」が「期待値」の 50～79%のもの
「C」 評価	「実績値」が「期待値」の 50%未満のもの

※「期待値」とは，年度ごとの目標値。



## 【生活大県プロジェクトの評価結果】

評価	プロジェクト名	評価の理由	今後の主な取組	昨年度 評価 との比較
順調	5 高齢者いきいき生涯現役PJ	介護予防と健康づくり施策や高齢者の就職支援や社会活動参加促進等が概ね期待通りの成果。	生活交通の維持・確保、買物環境の改善などの高齢者の生活支援をはじめ、高齢者が生きがいを持って活躍できる社会づくりをより一層推進していく。	↑
	6 低炭素社会実現PJ	再生可能エネルギーの導入促進やエコドライブの推進、森林吸収源対策等が着実に進展。	国のエネルギー政策や地球温暖化対策の動向を注視し的確に対応していくとともに、廃棄物の発生抑制等については、ごみの減量化や再資源化を一層推進する。	→
概ね順調	2 暮らしの安全・安心PJ	地域づくり活動への参加促進、治安対策や地域防災力の向上等が期待通りの成果。	地域ケアシステムや防災意識の普及啓発の推進とともに、治安・交通安全対策の充実や、放射性物質についての情報提供やハサップ等の導入による食の安全・安心確保に努める。	→
	3 社会全体で取り組む子育て支援PJ	結婚支援活動による男女の出会いの場づくり施策等が期待通りの成果。	子育て支援・少子化対策として結婚・出産・子育てまでの各ステージに応じた切れ目のない支援を行っていく。	→
	4 未来を担う子ども・若者育成PJ	道徳教育の推進や理数教育の充実による人材育成に向けた施策が期待通りの成果。	学校や地域社会等が連携し、学ぶ意欲向上や確かな学力の定着、豊かな人間性の育成などいばらきの未来を担う人づくりを進めていく。	→
	7 泳げる霞ヶ浦再生PJ	霞ヶ浦の水質(COD)が4年連続で改善し、第6期霞ヶ浦湖沼水質保全計画の水質目標を達成。	生活排水対策、畜産・農地対策等の水質保全対策や直接浄化対策を推進するとともに、水環境保全意識の醸成や霞ヶ浦の魅力の情報発信、交流の推進に取り組む。	→
	8 質の高いライフスタイル創造PJ	科学や文化芸術を身近に親しめる暮らしや、地域の特色を活かした賑わいのあるまちづくりの推進等が期待通りの成果。	風評被害の払拭のため本県食材の安全性のPRを強化するとともに、公共的施設等のバリアフリー化を進めるなど人にやさしい地域づくりを推進する。	→
	9 競争力ある産業育成と雇用創出PJ	インフラや企業の生産水準はほぼ震災前の状況に回復。工場立地動向調査結果全国一位。	県内の最先端技術やものづくり産業の集積等を活用した、成長分野への参入や新技術・新製品の開発、海外展開を支援するとともに、積極的な企業誘致を推進する。	→
	10 いばらき農業成長産業化PJ	風評被害が依然残るものの、東京都中央卸売市場での農産物シェアの回復や6次産業化に取り組む農業者が増加。	風評被害の払拭のためのPRに努めるほか、就農者の確保・育成や農地の集積・集約、6次産業化、輸出などの販路拡大や地産地消等の推進により農業大県づくりを進める。	→
11 アジアへ広がる観光・交流推進PJ	観光入込者数には一定の回復がみられ、外国人旅行者数も前年の2倍と大きく増加。	県内外からの誘客を図るため、おもてなしの向上に取り組むとともに、茨城空港の就航・利用対策や海外の旅行事業者等へのPR強化、Wi-Fi環境の整備等に取り組む。	↑	
やや遅れ	1 地域医療充実PJ	10万人当たりの医師数、就業看護職員数、いずれも依然として全国低位。	医師、看護師等医療従事者の確保対策や医療機関の連携等により、医療体制の充実を図る。また、生活習慣病、がん、感染症対策に関する県民意識の更なる普及啓発を行う。	→
	12 いばらきイメージアップPJ	風評被害が依然として残る中、安全・安心なイメージの回復、県外向けの情報発信に課題。	風評被害の払拭に向け情報発信に努めるとともに、いばキラTVや銀座のアンテナショップの活用等により、県民の郷土への愛着心を醸成し、首都圏に向けた積極的な情報発信を推進する。	→

※プロジェクトの評価は、各プロジェクトを構成する施策の評価結果を数値で分析するとともに、県政世論調査の結果などを勘案して、「順調」・「概ね順調」・「やや遅れ」・「遅れ」の4段階で評価を行っている。

## 評価結果

### 1 総括評価

- 12の生活大県プロジェクトの進捗状況については、「順調」が2本（16.7%）、「概ね順調」が8本（66.6%）、「やや遅れ」は2本（16.7%）となり、「遅れ」となったプロジェクト（以下「PJ」）はなかった。
- 順調に進捗しているPJは、「5 高齢者いきいき生涯現役PJ」と「6 低炭素社会実現PJ」であり、進捗が「やや遅れ」のPJは、「1 地域医療充実PJ」、「12 いばらきイメージアップPJ」の2PJ、その他の8PJは概ね順調に進捗している。
- 昨年度（平成24年度評価結果）との比較では、2本（16.7%）が上回る評価、10本（83.3%）が同様の評価で、昨年度を下回る評価はなかった。

### 2 プロジェクト別評価

- 「5 高齢者いきいき生涯現役PJ」については、介護予防と健康づくり施策や高齢者の就職支援、社会活動参加促進等の施策の推進が良好であることなどから、昨年度より評価が上がり「順調」となった。
- 「6 低炭素社会実現PJ」については、再生可能エネルギーの導入促進やエコドライブの推進、森林吸収源対策等が着実に進展していることから、昨年度同様「順調」となった。
- 「11 アジアへ広がる観光・交流推進PJ」については、東日本大震災や福島第一原発事故で落ち込んだ観光入込客数に一定の回復傾向がみられるとともに、外国人旅行者数も前年の2倍と大きく増加したことから、昨年度の評価を上回り「概ね順調」となった。
- 「1 地域医療充実PJ」については、数値目標に対しては概ね順調に進んでいるものの、医師数や就業看護職員数が全国低位にあることなどから「やや遅れ」の評価となった。今後も医療従事者の確保対策や医療機関の連携等により、安心して適切な医療を受けられる体制づくりに取り組んでいく必要がある。
- 「12 いばらきイメージアップPJ」についても、数値目標に対しては概ね順調に進んでいるものの、各種イメージランクの低迷などを勘案し、昨年度と同様「やや遅れ」の評価となった。今後も安全安心ないばらきのイメージアップに取り組むとともに、魅力発信など積極的な情報発信を行っていく必要がある。
- また、前年度から連続して「概ね順調」となった7つのPJについても引き続き着実に取り組んでいく必要がある。

## 【数値目標の進捗状況の評価結果】

上段：指標数，下段：割合

区分(政策名)	「A」 評価	「B+」 評価	「B+」 評価以上		「B」 評価	「C」 評価	計	
	100%以上	80～99%	矢印は24評価との割合比較		50～79%	50%未満		
① 住みよい いばらきづくり	(1)医療・保健・福祉が充実した安心できる社会づくり	16 47.1%	4 11.8%	20 58.8%	↑	9 26.5%	5 14.7%	34 (全35指標)
	(2)安全で安心して暮らせる社会づくり	8 57.1%	3 21.4%	11 78.6%	↑	2 14.3%	1 7.1%	14 (全14指標)
	(3)みんなで取り組む地球にやさしい環境づくり	4 40.0%	1 10.0%	5 50.0%	↓	1 10.0%	4 40.0%	10 (全11指標)
	(4)人にやさしい良好な生活環境づくり	5 45.5%	2 18.2%	7 63.6%	↑	2 18.2%	2 18.2%	11 (全11指標)
	計 (指標数 71)	33 47.8%	10 14.5%	43 62.3%	↑	14 20.3%	12 17.4%	69 (全71指標)
② 人が輝く いばらきづくり	(1)いばらきを担うたくましい人づくり	14 40.0%	6 17.1%	20 57.1%	↓	3 8.6%	12 34.3%	35 (全35指標)
	(2)豊かな人間性を育む地域づくり	6 54.5%	1 9.1%	7 63.6%	↑	1 9.1%	3 27.3%	11 (全11指標)
	(3)互いに認め合い支え合う社会づくり	3 33.3%	1 11.1%	4 44.4%	↓	3 33.3%	2 22.2%	9 (全12指標)
	計 (指標数 58)	23 41.8%	8 14.5%	31 56.4%	↓	7 12.7%	17 30.9%	55 (全58指標)
③ 活力ある いばらきづくり	(1)日本や世界をリードする科学技術創造立県の実現	3 37.5%	2 25.0%	5 62.5%	→	1 12.5%	2 25.0%	8 (全 8指標)
	(2)国内外の競争に打ち勝つ力強い産業づくり	13 48.1%	4 14.8%	17 63.0%	↑	3 11.1%	7 25.9%	27 (全27指標)
	(3)日本の食を支える食料供給基地づくり	4 22.2%	1 5.6%	5 22.2%	↑	2 11.1%	11 61.1%	18 (全19指標)
	(4)人・もの・情報が活発に行き交う交流社会づくり	7 33.3%	6 28.6%	13 61.9%	↑	2 9.5%	6 28.6%	21 (全21指標)
	計 (指標数 75)	27 36.5%	13 17.6%	40 54.1%	↑	8 10.8%	26 35.1%	74 (全75指標)
合計 (総指標数 204)	83 41.9%	31 15.7%	114 57.6%	↑	29 14.6%	55 27.8%	198 (全204指標)	

※総指標数は204であるが、最新データが未公表等により評価ができないものが6指標あるため、評価対象指標数は198となっている。

※矢印は、「B+」以上の評価の割合について、H24年度実績を同様の区分で評価した場合の評価結果と比較したもの。

# 評価結果

## 1 総括評価

- 「A」評価が83指標で全体の41.9%，概ね期待した成果が得られたと考えられる「B+」評価以上が114指標で全体の57.6%となった。
- 昨年度（平成24年度評価結果）との比較では，11の政策分野中7分野で「B+」評価以上の割合が増加するなど全体的に評価が上がった。

## 2 目標別評価

### ① 住みよい いばらきづくり（評価指標数：69）

「いばらき出会いサポートセンター利用者等の成婚者数」など33指標（47.8%）が「A」評価，「B+」評価以上が43指標（62.3%）と概ね順調に進捗している。「安全で安心して暮らせる社会づくり」については，「B+」評価以上が78.6%と順調に進捗しているが，「みんなで取り組む地球にやさしい環境づくり」については，「大気汚染に係る環境基準（SPM）達成率」が低下したこともあり，「B+」評価以上の割合が50.0%と昨年度を下回った。

安全・安心・快適な県づくりを一層推進するため，医師・看護師等の養成・確保や地域医療の充実，結婚・子育て対策，高齢者や障害者にやさしい社会づくり，治安体制の強化などに引き続き取り組むとともに，省エネルギーの推進など地球にやさしい環境づくりにも力を入れていく必要がある。

### ② 人が輝く いばらきづくり（評価指標数：55）

「四則計算の平均正答率（小6）」など23指標（41.8%）が「A」評価，「B+」評価以上は31指標（56.4%）となった。「豊かな人間性を育む地域づくり」については，「B+」評価以上が63.6%と昨年度を上回ったが，「互いに認め合い支え合う社会づくり」については，「B+」評価以上が44.4%と昨年度を下回るなど，全体としては，「新規学卒者訓練後の就職率」など2段階以上評価が低下した指標が延べ4指標あったことなどにより，昨年度をやや下回る結果となった。

その中であっても，「四則計算（小6・中3）」や「漢字の読み・書き（中3）」の平均正答率が3ヶ年度連続で「A」評価となるなど，児童生徒の学力の向上が着実に図られてきていることから，少人数学級の拡充，英語教育や理数教育の充実など日本の未来を担う人材の育成に一層取り組んでいく。

### ③ 活力ある いばらきづくり（評価指標数：74）

「工場立地面積・件数」など27指標（36.5%）が「A」評価，「B+」以上は40指標（54.1%）となった。「国内外の競争に打ち勝つ力強い産業づくり」については，「B+」評価以上が63.0%と比較的順調に進捗しているが，「日本の食を支える食料供給基地づくり」については，東日本大震災や原発事故等の影響により，「東京都中央卸売市場における県産農産物シェア」などの指標の進捗が伸びず，「C」評価が61.1%と大幅に進捗が遅れている。

「観光消費額」が「A」評価となるなど，原発事故等の影響を受けていた指標に一部回復傾向が見られるが，観光や農林水産業関連の指標については依然進捗が遅れていることから，風評被害の払拭に一層取り組んでいく必要がある。

また，雇用環境の一層の改善を図るため，就職支援や求職者等の資格取得支援などを強化するとともに，働く場所を確保するため，企業誘致や中小企業の成長分野への参入支援，科学技術の集積を活かした新事業・新産業の創出などに更に力を入れていく必要がある。



## 【参考】「追加目標」の設定及び目標値の修正について

- 平成25年度の実績において、平成27年度の最終目標の達成が確定した延べ9指標(重複を除くと8指標)について、残る2ヶ年の取組状況を測るため、新たに「追加目標」を設定する。
  - ・「追加目標」は、これまでの実績と今後の取り組みを勘案して設定
  - ・最終的に「追加目標」を達成した指標は、従来の「A」評価を上回る「A+」(新設)として評価
- 「障害者雇用率」について、法定雇用率の引上げ(1.8%→2.0%)に伴い、目標値も同様に修正する。【現行目標：1.8% → 修正後目標：2.0%】

### 《「追加目標」設定指標》

番号	指標名	単位	基準値 (H21)	実績値 (H25)	(H27)	
					現行 目標	追加 目標
10	いばらき出会いサポートセンター利用者等の成婚者数(累計)	組	441	1,162	1,120	1,562
33	禁煙認証施設の認証数	か所	3,136	5,006	4,600	6,595
37	防犯ボランティア団体数	団体	933	1,027	1,000	1,045
49	土砂災害防止施設の整備率	%	22.2	23.6	23.4	23.8
65 129	多文化共生サポーターバンクへの登録者数	人	1,099	1,380	1,250	1,425
97	技能検定合格者数(累計)	人	72,206	85,527	85,000	91,000
149	商業系企業の経営革新計画承認件数(累計)	件	303	854	640	1,000
190	ロケ誘致作品数	件	1,787	3,715	3,100	4,509

### 《設定例》

